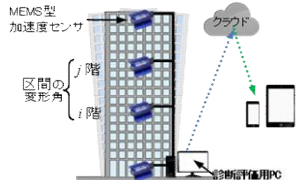



文部科学省案件

特別賞

応募部門	ウ 技術開発
案件名	地震動を受けたインフラ施設の建物モニタリングによる健全性評価システム
応募者名	大成建設株式会社ほか
(概要)	<p>近年、大地震が多発している中、インフラ施設の使用可否判断を迅速に行うことは、その後の復旧において極めて重要である。しかし、現在この使用可否判断は応急危険度判定士が一軒ずつ評価しているため、膨大な時間を要する。この課題解決のために、応急危険度判定基準に基づき、最新IoT技術、解析評価技術と莫大な設計データベースによる被災判定区分を兼ね備えた建物健全性評価システム「測震ナビ®」を開発した。その結果、国内に点在しているインフラ施設の使用可否を短時間かつ客観的に遠隔からでも判定が可能となり、調査の優先順位付けに寄与できる。</p>

	
「測震ナビ」全体の流れ	
	
個別判定から総合的に 建物健全性を3段階評価	